

—最大の被災都市から世界の復興モデル都市石巻を目指して—

石巻市雨水排水基本計画

～大規模地盤沈下に伴う浸水対策～



市中心部震災2日目

平成26年度

宮城県石巻市

—まえがき—

平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分、東北地方太平洋沖地震発生。

震源は、牡鹿半島東南東 130 km、深さ 24 km。国内観測史上最大となるマグニチュード 9.0。震度 6 強の激しい揺れと、その後に沿岸域全域に襲来した巨大津波は、本来市民を守るべき防潮堤を破壊し、多くの人命を奪い、私たちの住まいや働く場、道路や港湾、漁港など多くの財産が失われました。

津波の高さは、牡鹿地区の観測地点で最大 8.6m以上を観測、死者 3,159 名、行方不明者 441 名（平成 25 年 7 月末現在）にのぼる未曾有の大災害となり、本市に深い傷跡と悲しみの記憶を残すこととなりました。この津波により、平野部の約 30%、中心市街地を含む沿岸域の約 73 km²が浸水し、被災住家は全住家数の約 7 割の 56,686 棟、うち約 3 割の 19,957 棟が全壊（平成 25 年 7 月末）となりました。

沿岸域においては、工場や事業所をはじめ、学校・病院・総合支所等の公共施設が壊滅的な被害を受け、本市全域でライフラインが停止し、都市としての機能が失われました。

震災後の最大避難者数は約 50,000 人、避難箇所は 250 か所で、在宅避難者を含めた最大食料配布人数は約 87,000 人（平成 23 年 3 月 17 日時点）と想定の域を大きく上回る事態となりました。

地震に伴う地盤沈下も深刻で、牡鹿地区鮎川の 120cm 沈下をはじめ、市内の広範囲で地盤沈下や液状化が発生しており、高潮時や降雨時には仮設ポンプによる強制排水を余儀なくされています。

今後、この東日本大震災を踏まえ、本市公共下水道雨水整備の取り組むべき方向を「石巻市雨水排水基本計画」で示し、災害に強いまちづくりを目指していきます。

平成 26 年 7 月

東日本大震災による石巻市の被害状況

■石巻市の被害の状況(平成25年7月末日現在) ※[]は全国(警察庁発表、平成25年8月9日現在)			
死者数(※住民基本台帳上の数)	3,159人	[15,883人]	※人口:162,822人(H23年2月末時点) 150,485人(H25年7月末現在) △12,337人
行方不明者(※住民基本台帳上の数)	441人	[2,656人]	
全壊	19,957棟	[126,483棟]	※最大避難者数は50,758人(H23年3月17日時点) ※最大避難所数は259箇所 ※避難所は平成23年10月11日、待機所は同年12月11日をもってすべて閉鎖 ※石巻市の被災住家数は、被災前全住家数の76.6%を占めます
半壊	13,114棟	[272,287棟]	
一部損壊	23,615棟	[742,425棟]	
合計	56,686棟	[1,141,195棟]	

目 次

1	はじめに.....	1
1.1	策定の背景と位置付け.....	1
1.2	石巻市の成り立ち.....	3
2	被災の状況.....	5
2.1	地震.....	5
2.2	津波.....	7
2.3	地盤沈下.....	12
3	震災後の内水排除状況.....	15
3.1	応急復旧対応.....	15
3.2	浸水状況.....	18
3.3	地盤高とHWLの関係.....	21
4	雨水整備復興ビジョン.....	23
4.1	石巻市復興計画について.....	23
4.2	雨水復興の課題と施策目標.....	26
4.3	中長期目標.....	30
4.4	整備目標水準.....	32
4.5	整備目標期間.....	36
5	具体施策.....	38
5.1	施設整備に対する基本的な考え.....	38
5.2	排水システムの変更.....	40
5.3	排水区別計画の概要.....	42
5.4	事業区分.....	44